

平成28年度 第4回入学式式辞

春の嵐の後、穏やかな日差しの中に桜吹雪が舞い、武蔵野の面影を残す雑木林も芽吹いて、新緑の葉が茂るのもまじかとなりました。

このよき日に、

埼玉県議会議員 土屋恵一 様 並びに 前原かづえ 様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、埼玉県立ふじみ野高等学校 第4回入学式を挙げていただけますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであります。深く感謝申し上げます。

ただいま、本校への入学を許可いたしました 241名 の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校教職員を代表して心より歓迎します。

また、お子様を今日まで温かく見守り、育ててこられました保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

本校は、3年前に長い間地域に親しまれてきました大井高校と福岡高校が統合し、普通科と県内唯一のスポーツサイエンス科を併設した学校としてスタートし、今年度4年目を迎えています。

この3年間、私たちは、「学習とスポーツ・文化活動を両立し、地域に元気・感動・夢を発信する学校」を目指し、生徒・教職員が一丸となって取り組んで参りました。

その結果、例えば、全国高等学校総合体育大会で 体操競技部が女子団体で全国初優勝という金字塔を打ち建てたり、陸上競技部や水泳部、写真部が全国大会出場を達成したりして、県内はもとより、関東、全国にふじみ野高校をアピールすることができました。

この場をお借りして、地元中学校や地域の皆様方のこれまでの御理解・御協力に感謝申し上げます。

私は、こうした生徒たちの成果をたいへん誇りに思っていますが、同じくらい誇りに思っていることがあります。それは、この3月に卒業した卒業生の、3年間、欠席・遅刻・早退がゼロである「3カ年皆勤者」が49名、3年間、欠席・早退がゼロで遅刻が3回以内である「3カ年精勤者」が18名、合計67名で、卒業生の31%が3年間1日も休まず登校したことです。

67名の「意思の強さ・まじめさ」や「日々の健康管理」、「ご家族のサポート」等に対して、敬意を表するとともに、誇りに思うのであります。皆さんもこうした先輩に続いて3年間を過ごしていただきたいと思います。

さて、教育の目的は人格の完成であります。が、「バランスのとれた人格」を形成するためには、高校においては、本校が目指す学校像にも掲げている「学習とスポーツ・文化活動を両立」することが重要であります。そこで、皆さんに2つの言葉を送ります。

一つ目は「よく学べ」ということです。

皆さんは、9年間の義務教育を修了し、これから3年間学ぶわけですが、勉強は高校で終わるわけではありません。

実は、社会人として働き始めてからの方が勉強しなければならないことが多くあります。その時重要となるのが、基礎基本となる知識、勉強の仕方や課題を解決する方法、説明する力や発表する力を身に付けていることです。

こうした基礎基本となる知識や能力は、「授業を真剣に受ける」ことにより身に付いていきます。だから、皆さんには授業を大切に、「よく学べ」と言いたいのです。

そのため、本校では少人数授業の展開、希望による補講や英語検定・漢字検定をはじめとする各種検定の実施など、皆さんが「よく学ぶ」ための指導体制を整えています。また、皆さんを熱心に指導する専門性の高い教員を揃えています。どうぞ3年間「よく学び」、これまで開発されてこなかった皆さんの潜在能力を思う存分伸ばしていただきたいと思います。

二つ目は、「部活動や生徒会活動等にとことん打ち込め」ということです。

今、皆さんの世代は、「人間関係を上手く築けない。自分で意志決定が出来ない。自分の良さを積極的に認めるという自己肯定感がなく将来に希望が持てない」などと指摘されていますが、私は、こうした状況は、部活動や生徒会活動等にとことん打ち込むことで、解決できるものと考えています。

部活動や生徒会活動等に打ち込むとどうなるでしょうか。

まず、同じ志を持った人と出会います。やがて、目標を共有し、目標達成に向けて一緒に活動することになります。出会った人とは、時にはケンカをしたり、仲直りをしたりしながら、やがて友人になります。また、試合に負けたり、失敗したりして、悔しくて、肩を組んで号泣することもあるでしょう。目標を達成したり、成功したりした時は、手を取り合って歓喜することもあるでしょう。

こうした人とのかかわりの中で、コミュニケーションする力、意思を決定し行動選択する力、他人を認め自分の価値を見出すことなどが育まれるのです。そして、こうした力は、感受性の強い高校時代の「今」でなければ、育むことはできません。

新入生の皆さん、興味のある部活動や生徒会活動等に、とことん打ち込み、たくましく成長してバランスのとれた人格を形成してください。

保護者の皆様にお願ひがあります。お子様は、これから身も心も大人へと成長していきます。時には、思い通りにいかないことや失敗することがあり、心が折れそうになることもあるでしょう。そんな時には、保護者と学校とできめ細かく連携しながらお子様を育てていきましょう。

本校では、保護者の皆さんと相談しながら、お子様をサポートしつつ、小さなハードルを一つ一つ段階を踏んで超えさせていきたいと考えています。そうすることにより、お子様は、少しずつストレスを乗り越え、自分自身で決断して行動できるようになるはずで、そして、社会人となった時、困難に出会ってストレスに押し潰されることなく、乗り越えられるよう、たくましく心豊かに育てていきましょう。

結びに、新入生諸君の高校生活が、何物にも代えがたい充実した3年間になりますよう祈念いたしまして、式辞といたします。

平成28年4月8日

埼玉県立ふじみ野高等学校長 大川 勝